

新型コロナウイルス感染防止のための各種対応と職員の行動

2020.11.19 感染対策室

フェーズ判断基準の目安	院内陽性者なし（新規発生後14日経過）		入院患者または職員から陽性者発生
	京都・大阪・兵庫・滋賀 1週間以上陽性者なし	京都市陽性者1日3名以上 が3日以上継続	京都市陽性者 <b>6名以上</b> <b>が3日以上継続</b> 近畿地区で緊急事態宣言発出
対応・行動	1	2	3
新しい生活様式 以下、全項目に適応	<新しい生活様式に沿った生活を送る> <b>感染リスクが高まる5つの場面回避（飲酒を伴う懇親会や5人以上での飲食の自粛、狭い空間で共同生活しない、複数で喫煙しない）</b> 3密回避、換気、こまめな手指衛生、人との間隔2m（取れない場合はマスク装着）、 人と向き合わない、毎日体調チェック、帰宅時には手洗い洗顔、 向き合わない、おしゃべりは食後マスクをしてから、お酌・回し飲みしない		
外来・病棟	院内に滞在中は常時マスク着用 患者接触時、患者がマスクをはずす時はアイシールド装着 職員がマスクをはずす時の感染対策徹底 （マスクせずに会話しない、食事時は向き合わない、食べ物をシェアしない など）※標準予防策を遵守のこと		
環境消毒	発熱外来、接触者外来、陽性例、疑似症例対応：ルビスタ・アルコール・0.05%ハイター、 その他の場所は環境クロス	発熱外来、接触者外来、陽性例、疑似症例対応、病棟：ルビスタ・アルコール・0.05%ハイター、その他の場所は環境クロス	
発熱外来エレベーター	優先使用／自動運転（業務使用可）		専用化／手動運転
入館時の発熱チェック	中止検討可 ※最初の対応者が症状有無確認	実施	
学生実習	実施可	中止を検討 ※所属長と感染対策室で審議	中止
患者面会	10分以内、1日1家族2名まで※感染対策を遵守されない方、流行地域からの訪問者は面会不可	禁止を検討（WEB面会検討） ※医師が付き添いを許可した場合のみ個室で面会可	禁止 ※医師が付き添いを許可した場合のみ個室で面会可
外出／外泊	原則、禁止 ※試験外泊は可（1泊2日）		
院外集合活動	3密を避けた会議は出席可 カラオケ、ライブ、合唱、吹奏楽団活動自粛	3密を避けた会議は出席可 カラオケ、ライブ、合唱、吹奏楽団活動禁止	同居家族以外との集合、原則禁止 カラオケ、ライブ、合唱、吹奏楽団活動禁止
院内集合活動	マスク装着、換気を徹底 人数の目安：講堂40名、6階会議室10名、小会議室6名	マスク装着、換気を徹底 人数の目安：講堂20名、6階会議室10名、小会議室6名 WEB研修/会議推奨	集合禁止 ※院長が開催を許可した会議は、マスク装着、換気を徹底し実施可 WEB研修/会議推奨
業者等の訪問者	流行地域からの来院は禁止 体調チェック、マスク装着 10分以内（作業時間を除く） WEB面会推奨	流行地域からの来院は禁止 不要不急の用件は不可 体調チェック、マスク装着 10分以内（作業時間を除く） WEB面会推奨	原則、禁止 WEB面会
人の移動	海外渡航不可 流行地域への移動は控える ※移動の際は事前に所属長に報告する、感染対策を徹底し、行動を記録する 混雑した場所に滞在しない 公共交通機関利用時はマスク装着		京都府外への不要不急の移動は控える ※移動の必要がある場合は、事前に所属長に報告し感染対策を徹底、行動を記録する 混雑した場所に滞在しない 公共交通機関利用時はマスク装着
飲食	<新しい生活様式に沿った行動をとる・3密や <b>感染リスクが高まる5つの場面</b> を回避する> 禁止事項：大皿料理（取り分ける箸やトングも共用しないこと）・回し飲み・お酌・仕切りのない向き合った着席・マスク無しの会話・混雑した店内に滞在・ <b>はしご酒・接待を伴う飲食</b>		外食禁止

フェーズの変更は院内新型コロナウイルス感染対策会議および管理者会議で決定する

フェーズ STEP UP : 陽性者発生増加当日に引き上げ ※夜間休日の場合、発熱EVと発熱チェックは翌週日に変更

フェーズ STEP DOWN : 陽性者減少が7日以上継続したときに、その時点で該当するフェーズに引き下げ

院内で陽性者発生時は、最後の発生から14日間フェーズ3を継続

流行地域の目安 : 直近1週間の人口10万人あたりの感染者数が10人以上の都道府県